

CD版

全6巻

松原泰道 講演選集

仏の心を生きる

平成21年、101歳で遷化された松原泰道師。

仏教を一般の人々にも理解できるよう、難解な禅の話や「般若心経」を分かりやすく解説することでは当代随一といわれた。

そして、百歳を超えても各地を行脚し、人が生きる意味と智慧を説き続けた。そんな松原師の多くの法話の中から、六つの名法話を選んで構成した不朽のCD集。

松原泰道 (まつばら たいどう) 略歴

明治40年東京生まれ。早稲田大学文学部卒。臨済宗妙心寺派教学部長を務める。昭和47年出版の「般若心経入門」(祥伝社)は記録的ベストセラーとなり、第一次仏教書ブームを作った。仏教伝道文化賞や禅文化賞を受賞。宗派を超えた仏教者の集い「南無の会」会長を長く務めた。平成21年7月29日遷化。

第一巻

禅ともののあわれ (63分)(1982年)

禅は、文学、美術、茶道など日本文化に大きな影響を与えてきた。日本文化を貫く重要な理念である「もののあわれ」と禅の関係は——？芭蕉、利休等の作品や有名な禅者たちの生き方を通して語る。

第二巻

『法華経』に聞く (74分)(1984年)

古来より宗派を超えて読みつがれてきた大乘經典の代表的なお経「法華経」。その成り立ちや、理解するポイントとなる「諸法実相」「久遠実成」等の言葉について、松原師らしい分かりやすい解説を展開。

第三巻

『華嚴経』の世界観 (73分)(1984年)

東大寺の大仏、毘盧遮那仏が象徴しているのが「華嚴経」の教えだ。その教えの中心をなす、「一即一切、一切即一」という考えや、仏による無限の救済を説いた「衆生無辺誓願度」という言葉などをやさしく解説し、「華嚴経」の世界観を導き出す。

第四巻

釈尊最初の説法『四諦・八正道』 (76分)(2000年)

仏教語の「諦めめる」は、断念する意味ではなく、原因を明らかにすることである。つまり「四諦」とは四つの真理をさす。釈尊が説いたという四つの真理や「八正道」とは何かについて解説する。

第五巻

般若心経のころ (74分)(2000年)

「空」の思想を二百六十二字の簡潔な形で表現した「般若心経」。「一切の事象を`空`と観察して、苦を度う」という主旨のお経だ。沢庵和尚、白隠禅師など先達の禅者の言葉も紹介しながら「般若心経のころ」を解説。

第六巻

道元禅師に学ぶ (67分)(2000年)

曹洞宗の開祖道元は、留学先の中国で炊事や掃除も仏道の実践に他ならないことや、「他は是れ吾にあらず」との教えを学んだ。それらは禅の大切な精神として日本にもたらされ、現代人はそこからなにを学ぶべきかというテーマで思い深く語る。

CD



価格 16,500円 (消費税10%込)

●CD6枚+16頁解説書 ●発行:アートデイズ